



人との関わり

西小林小学校 6年1組 小倉あかね



小中一貫の授業風景

西 小林小学校は、地域の人々との関わりが深い学校です。特に、関わりが深いことを3つ紹介します。

1つめは、日本一元気なあいさつです。学校だけではなく、地域の人にも、進んであいさつします。あいさつをすることで、仲良くなれたり、うれしくなったりします。

2つめは、小中一貫教育です。小学校では、中学校の先生に授業をしてもらいます。中学校に行っても、知っている先生がいるとほっとします。また、幸ヶ丘小学校の友達とも一緒に勉強したり遊んだりします。



夏休みの登校日に開く慰霊集会

3つめは、慰霊集会です。昔の西小林では、空襲がありました。夏休みの登校日には、慰霊集会を開き、そのときの様子や、戦争のお話を聞いたりします。そこで命の尊さ、平和の大切さを学びます。

私たちの西小林小学校は、地域の多くの方々に愛され、支えられています。そして、いろんな人と交流して、仲良くなりたいです。私は、いろんな人と関わりをもっと深めていける人になっていきたいです。



小林高校駅伝部の廣末卓選手が世界大会へ



廣末卓選手

小 林高校駅伝部2年生の廣末卓選手が、7月10日から7月14日にウクライナで開催される第8回世界ユース陸上競技選手権の男子3000メートル代表に選ばれました。

4月21日、世界ユースの代表選考レースである、第61回兵庫リレーカーニバルでは、得意のラストスパートでライバルに勝利。全国レベルの大会で、初の優勝となりました。

小林高校駅伝部は今まで、卒業生の世界大会出場はありましたが、現役高校生での出場は今回が初めて。

廣末選手は、「日本ではトップだが、世界ではチャレンジジャー。8位入賞を目指す。調子は良いので期待してください」と、意気込みを語りました。

横山美和監督は「練習熱



練習に励む駅伝部

心で前向きな子。本番では世界のレベルの高さを実感し、いい経験にしてほしい」と期待を寄せています。

また、7月30日から8月3日には、大分県で全国高等学校総合体育大会陸上競技大会が開催されます。駅伝部からは4人が出場。

3000メートル障害に出場する福留大樹主将は、「冬の全国高校駅伝で優勝するために、4人全員が入賞するくらいではないといけない」と話していました。

主将の目は、すでに冬の高校駅伝を見据えています。昭和53年、第29回大会以来の全国制覇が期待できそうです。



小林の考古学①～遺跡の数と発掘調査～

Vol.54



新村遺跡出土ナイフ形石器



皆 さんは考古学と聞くとどんなことを思い浮かべますか。エジプトのピラミッドやインディー・ジョーンズなど外国の話はよく耳にしますね。

考古学とは、発掘調査などを行い、遺跡・遺構・遺物から、歴史の復元を目指す学問のことです。それらは外国や博物館、歴史の教科書に載っているだけのものではありません。

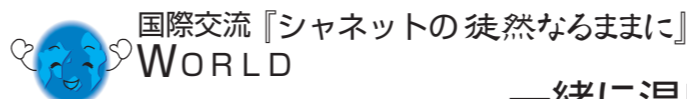
遺跡は、人々が過去に残した活動(生活)の痕跡なので、当然小林市にも多くの遺跡が存在します。

現在、市には約450箇所の遺跡が存在します。古くは約2万年前の後期旧石器時代

に、すでに人類が生活していた痕跡が確認されています。野尻町新村遺跡からは、この時代に使用された「ナイフ形石器」と言われる石器が発見されています。

遺跡の年代を決定する方法は、遺跡が発見される地層や出土した土器・石器などの大きさや形、作り方などから判断することが出来ます。

発掘調査は、そういった判断材料を余すことなく正確に記録することを念頭に行われます。約450箇所の遺跡の内、これまで本格的な発掘調査が行われたのは約40箇所です。私たちの足元にはまだまだ数多くの歴史ロマンが眠っているということですね。



一緒に温泉に入る？

Vol.17



今 年に入って、公立幼稚園・保育園にも行くことになりました。子どもたちは興味津々で、物覚えが早いので、ドイツ語などを教えるのがたいへん楽しいです。子どもたちは発音もびっくりするほど上手ですね。若ければ若いほど上手ですよ。本当に楽しいです。でも楽しくないことが一つあります。よく子どもたちにこんな質問をされます。

「おんな？おとこ？」

まあ、分からないことはないです。髪の毛が短いし、背も高いし、手も足も大きいし、スカートは学校や保育園で減らして履かないし…。うん。分からないことはないです。でもドイツでは1回も聞かれたことがないです。なぜでしょう？

う。日本にも髪の毛が短い女性がいるでしょう。そして、ズボン履く女性もたくさんいるでしょう。では、見た目より、性格の問題でしょうか。確かにドイツでは、女性と男性に性格の差はそれほどありません。日本のアイドルはドイツでは絶対受け入れられません。ぶりっ子はいません。テレビやラジオで、高くてかわいい声で喋ることはありません。アヒル口も見たことがないです。だって、ドイツでは、女性は強くてモテます。子どもの頃から、男女の性別を問わず、同じように育てられます。やはりドイツで育てられた私は、日本では少し強すぎて、男の子っぽいですかね？

去年の出来事です。友達の子が「シャネットさんは女？男？」と聞いていました。友達は「直接聞きなさい」と言い、その子は私に聞きました。私が「はああ?!」と答えると、その子は、余計わからなくなりました。ドイツさん、一緒に温泉に入る？」と誘われました。